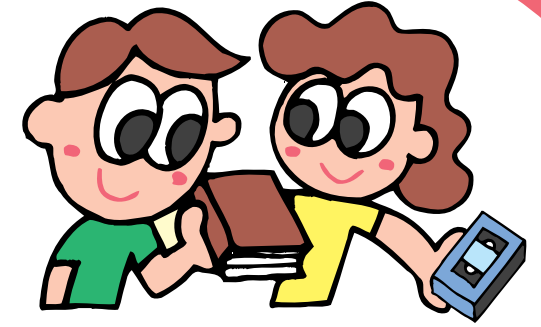


知らなかった! こんな図書館



みなさんは、茅ヶ崎市立図書館に行ったことがありますか？
わたしたちマリンジュニア編集委員9人は、6月19日に市立図書館本館取材しました。今まで知らなかった裏側にまで潜入し、図書館の楽しみ方を再発見してきました。さあ、図書館をのぞいてみましょう！



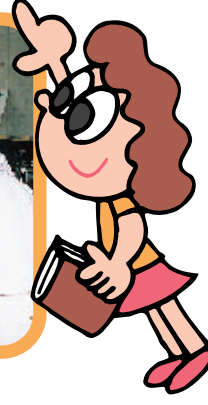
● **こんな事もやっていますよ!**
図書館には、なんと約45万冊の本があります。1日の利用者数は、約600〜700人です。本のほかにもCDやビデオ、映画などを使う16ミリフィルムも貸し出しもしています。また、古くなった本などは、書庫に入れるほかに、図書館で必要かどうか考えて毎日「リサイクルコーナー」に出しています。人気のあるコーナーで、開館時に毎日楽しみに待っている人もいます。1回に2冊まで借りることができます。そして年に1度、10日間ほどかけて、全部の本の点検や大掃除をします。戸棚を水がききたり、すべての本に掃除機をかけ

● **図書館54年の歴史**
図書館の歴史は、昭和24年4月、茅ヶ崎小学校の作法室から始まりました。現在の場所に移ったのは、昭和58年のことです。昭和54年には、移動図書館「しおかぜ号」が運行を開始しました。昭和59年に市青少年会館に初めて分室が開館し、現在は8分室があります。平成元年に香川分館が開館し、2年3月の本館に続いて、11月には分館のコンピュータが稼働しました。平成3年に文教大学と、8年に藤

てほこりを取り除いたりします。図書館の掃除はとも大変だと思いました。
● **縁の下の力持ち “ボランティア”**
図書館には、目の不自由な人のために、点字に訳した本や、声を録音したカセットテープがあります。ほかに、本の読み聞かせや布で作った本もあります。また図書館の本が傷んでしまったとき、特殊なテープでのりで修理されます。

これらのことは、誰がやっているのだろう？ それは、図書館を支えている10のボランティアの団体です。わたしたちが図書館に行ったとき楽しく過ごせるようにと、さまざまな活動をしているボランティアのみなさんは、図書館にとって大切な存在です。点字本や布本などから、温もりが伝わってきました。

● **しおかぜ号って何だろう??**
普段は図書館で本を借りているわたしたち。でも、図書館から家が遠い人などは、なかなか本を借りに行くことができません。そんな時、便利なのが移動図書館「しおかぜ号」。約3500冊の本を乗せて、公園・マンション・小学校など計18カ所を巡回しています。小さい子ども



ものいるお母さんなどに、とても喜ばれているそうです。もちろん小学生や中学生など誰でも利用することができます！また、本棚の低いところに小さい子ども向けの本を置いて、取りやすくしています。しおかぜ号にはいろいろな工夫がされているんだなあと思いました。

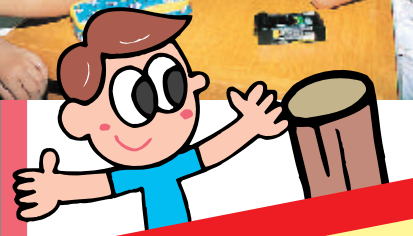


移動図書館「しおかぜ号」

● **本はいろいろ**
みなさんは、ISBNって知っていますか？ ISBNは、世界中で出版された本に付いている番号のことで、この番号が分かるとパソコンで簡単に本を探すことができます。図書館では、本が本棚に並ぶまでに、さまざまな準備をしています。まず、新しい本の情報が載っている新刊案内などを見て、買う本を選びます（ここが司書の腕の見せどころ！）。本が届いたら、本の情報をパソコンに入力します。そして、茅ヶ崎の市章印（蔵書であることの印）を押し、請求番号を付け、



布本に触れる編集委員



図書館からのお願い
★期限内に返しましょう
★本への書き込みはやめましょう
★傷んだ本を見つけたら、自分で直さず、図書館のカウンターに声をかけましょう

みんなの本を大切に

